

■ 病院概要

創立	明治 32 年 1 月 10 日 飛騨三郡立大野郡病院として創立 大正 11 年 11 月 1 日 日本赤十字社に寄贈移管
病床数	394 床 (救命救急センター16 床・未熟児センター10 床・ 回復期リハビリテーション病棟 45 床・地域包括ケア病棟 48 床 含)
診療科目	内科・消化器科・呼吸器科・血液内科・循環器内科・整形外科・外科 脳神経外科・泌尿器科・小児科・産婦人科・耳鼻咽喉科・眼科・精神科 (心療内科) 皮膚科・放射線科・リハビリテーション科・麻酔科・歯科口腔外科・病理診断科
付帯施設	高山赤十字介護老人保健施設「はなさと」(100 床) ・ 高山赤十字居宅介護支援事業所
指定状況	臨床研修病院・3 次救急告示病院・地域医療支援病院・地域がん診療連携拠点病院 地域周産期母子医療センター・災害拠点病院・へき地医療拠点病院



人間を救うのは、人間だ。Together for humanity



高山赤十字病院

臨床研修案内

■ 処遇

身分	研修医 (常勤嘱託)
給与	1 年目 約 750 万円/年 2 年目 約 900 万円/年 (基本給・賞与・諸手当*を含む) * 日当直手当 約 30,000 円/回 * その他通勤手当、時間外手当、寒冷地手当 他
住宅	病院近隣 医師用住宅アパートあり 医師住宅家賃補助あり
その他	有給休暇 24 日 (夏休み含む) 特別有給休暇 保育所完備 (0~3 歳まで)

■ 募集要項

募集定員	: 一般プログラム 7 名 地域医療重点プログラム 1 名
研修期間	: 令和 7 年 4 月 1 日~令和 9 年 3 月 31 日
選考日	: 8 月の月曜日 (日程は相談に応じます)
選抜方法	: 面接
応募締切日	: 面接希望日の 2 週間前 必着
必要書類	: 履歴書 (当院ホームページよりダウンロード) 卒業 (見込) 証明書、成績証明書



交通アクセス

- JR : JR 高山線『高山駅』より徒歩 10 分
- 高速バス : 高山濃飛バスセンターより徒歩 10 分
- お車 : 中部縦貫自動車道『高山 I・C』より 10 分

病院見学

日程や内容は、個別に対応します。
お気軽にお問い合わせください。
(宿泊費、交通費の一部を補助します。)



とりあげたい！
言はそから！
(笑)



Point 1 主治医を経験し、主体的に学ぶ

自分で検査・治療を検討して、指導医とともに方針を決定することで、考える力を身につけます。現場で悩みながら、実用的な知識・技術の向上が図れます。指導医の確かなバックアップが研修医の積極的な介入を可能にします。指導医・上級医へコンサルトするスキルや、患者さんへ説明する力も身につきます。



Point 2 豊富な症例 PrimaryCare 研修に最適

地域で唯一の三次救急病院です。医療圏が広く、かつ分散しません。多くの機能を持ち、近隣の医療機関から多数の紹介症例をいただけるので、幅広い疾患を経験できます。また、飛騨地方は都会のように専門的治療・急性期の治療後のパトナッチが来ず、自院に回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟、老人保健施設を併設していますので慢性期に移行した患者さんの治療も学べます。

Point 3 40年にわたる指導実績 患者さんがやさしい

1991年から40年以上にわたり多くの研修医を育ててきた実績があります。また、看護師をはじめすべてのスタッフが優しいと評判です。さらに、飛騨地域は田舎人情あふれる土地柄。患者さんとの信頼関係に基づく医療が行われ、都市部に比べ、患者さんとのトラブルが非常に少ないのが特徴です。医療者だけでなく、患者さんにも育てていただくと言っても過言ではありません。



一人当直！ やりごとの得た環境で経験が積める！

得意な治療を主体的にやるのが、自分の学びのチャンスになる。

とにかくいろんな症例、経験が積める！ 友朋がつく

責任感が目覚める。



こちらをご覧ください。

年間スケジュール

● 一般プログラム

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						外科		小児科	救急科		
2年次	産婦人科	精神科	地域医療	選択科（連携病院での研修は6週以内）								

● 地域医療重点プログラム（地域医療研修が12週）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						外科		小児科	救急科		
2年次	産婦人科	精神科	地域医療 12週			選択科（連携病院での研修は6週以内）						

～地域医療研修～



7月上旬に地域医療研修にて久々野・朝日・高根診療所をまわりました。学生時代に地域医療研究部というサークル活動をしていましたが、それ以来久しぶりにフィールドに出る機会をいただきました。限られた設備・検査のなかで判断し総合病院へ紹介する難しさを感じるとともに、紹介元の立場から当院を見直す良い機会となりました。学生時代は当たり前であると考えていた「患者背景を考慮する」という基本事項についても医師となり多忙な診療業務のなかで忘れてちがっていたため、改めて意識すべきであると反省する機会にもなりました。 K・S



診療所の訪問診療では寝たきりの患者さんや、若年の方から高齢の方まで様々でしたが、皆、先生をはじめ医療スタッフの到着を楽しみにしていました。死を前にして、死にたいという患者さんにも静かに寄り添い、無理に励ましたり遠ざけたりすることもありません。静かに、そして温かく寄り添う姿勢が嬉しい時もある。診療所では、在宅での看取り、緩和ケアの精神も学ばせていただきました。 Y・M

連携医療機関など

プログラムの詳細は [コチラ](#)



■ 救急医療の実績



	救急外来 患者数	救急車 受入件数
2022年度	12,503件	3,827件
2023年度	12,833件	3,851件

（救急搬送応需率 99.4%）



東京都の約2倍という広大な医療圏を守る三次救急病院です。地域で唯一の救命救急センターを整備し、一次、二次、三次を問わず救急医療を担当しています。
・自然に恵まれているため、山岳外傷、動物外傷、ツーリング外傷などにも遭遇
・人気の観光地で、外国人旅行者の診療機会が多いことも特徴

一般的にみられる市中疾患から高度な医療を要する重症な疾患まで幅広い疾患を経験することができます。2年目研修医のアドバイスを受けながら見学、診察をし、6月から副直医として活躍します。初めは緊張と不安でいっぱいですが、いつでも上級医にコンサルトできるので心配はいりません。上級医とマンツーマンで当直を行うため、各科の医師も研修医のことをよく知ってくださり、研修医が少数である当院の利点であると思います。眠れない夜もあり、しんどいこともあります。毎回新しい知識を得ることができ、励みにもなります。救急外来は、様々な疾患を経験し、初期対応を身につける貴重な場だと思います。 先輩研修医 A・K



「たくましくて、カッコ良い医師になりたい。」

この想いを実現するため、高山赤十字病院で医師の道を歩み始めました。当院は、広さとしては日本でも最大級の医療圏である飛騨地域において唯一の3次救急病院です。よって症例の幅は広く、common disease から重症疾患まで多彩な経験ができます。当院の研修の特徴として、内科や小児科を中心に主治医として患者さんを診察することがあります。自分で責任を持って検査や注射オーダーに「悩み」、結果解釈に「悩み」、プランに「悩み」抜くことで強くなり、抜群の病棟管理力を付けることができます。また、救急外来でバランス良く、多彩な症例を経験することもできます。山岳地域特有の滑落外傷や熊外傷、観光地であるため外国人診療に携わることも多くあります。当院の近くには多くの観光名所があり、食文化も飛騨牛、富山からの海鮮、地酒など非常に発達しています。市内各所に温泉があり、登山やウィンタースポーツなども楽しむことができます。一度、観光のついでに見学しに来てください。たくましくて、カッコ良い研修医たちが待っています。 先輩研修医 R.K.



おまけ

～高山の休日・・・～

高山には映画館が無い（泣）
ショッピングセンターも無い（泣）
でも日本有数の観光地！限られた2年間で満喫しましょう♪

- ◇古い町並み、高山陣屋、宮川朝市を巡る
- ◇足を延ばして世界遺産の白川郷、上高地、金沢へ行くもよし
- ◇🏔️：乗鞍岳・焼岳・槍ヶ岳・穂高連峰・白山と名山がたくさん
- ◇♨️：下呂温泉、奥飛騨温泉郷、飛騨小坂温泉郷など名湯秘湯へ夏はキャンプや溪流釣り、冬は近場の大型スキー場でスキー、スノボを楽しむ♪

Point 4

全国から集まる研修医

さまざまな出身大学の仲間と、新しい環境で切磋琢磨することができます

～R6年度～
自治医科大学
愛知医科大学
福井大学
大阪医科大学
熊本大学
久留米大学



【北海道・東北】
札幌医大
山形大学
福島県立医大

【中部】
岐阜大学 名古屋市大
愛知医大 藤田医大
福井大学 富山大学
新潟大学 信州大学
金沢医大

【九州・中国】
鳥取大学
島根大学
長崎大学
宮崎大学
産業医大
久留米大学
琉球大学

【関西】
大阪大学 近畿大学
大阪医大 関西医大

【関東】
東京大学
東京医科歯科大
順天堂大学
東京女子医大
帝京大学
昭和大学
東邦大学
筑波大学
自治医科大学

高山に縁もゆかりもない私を、病院の方だけでなく、高山という街全体が非常に暖かく迎え入れ、充実した研修医生活を送らせていただきました。医師が少ない地であり日当直に明け暮れる日々でしたが、今では良い思い出であり、今に生きる糧となっています。 先輩研修医

